

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

原発のない松江 くらし守る市政を 市長選に吉儀敬子氏



意見書を提案する田中はじめ市議

3月18日、松江市議会2月定例会は、981億7600万円の2021年度一般会計予算と、

原発認める市政に反対、暮らし優先の市政に 2月議会終わる

小中学校の特別教室の空調整備費などの20年度補正予算、計67議案を決めて終わりました。

吉儀敬子市議が共産党市議団を代表して反対討論を行い、一般会計については、産後ケア事業の拡充など評価すべき点もあるが、原発推進の立場であること、マイナンバーカードを推進する内容であること、また国保会計では16億円もの基金は国保料の引き下げに活用すべきとし、合わせて7会計に反対しました。他、20年で負担が倍増した介護



大平よしのお前衆院議員を迎え、市長・市議選決起集会

19日、20日の両日、大平よしのお前衆院議員を迎え、各ブロックごとに、「まちかど演説会」を開きました。



舟木けんじ予定候補と大平よしのお前衆院議員

3議席の死守で原発のない松江を、大平氏駆け付け、決起集会と「まちかど演説会」 原発のない松江を子供たちに

日本共産党東部地区委員会
3月19日夜、大平よしのぶ前衆院議員を迎え、党と後援会の決起集会を開きました。市長選への出馬表明した松江市議の吉儀けい子氏、共産党公認の「島根原発2号機の再稼働は認めない」と訴えました。

舟木けんじブロック まちかど演説会開催

した。続いて舟木けんじ予定

候補は「コロナ対策とくらし応援の市政に切り替えるためにがんばります。中学卒業までの医療費無料化、16億円の基金を使って国保料の引き下げにとりくみます。9年間止まったままの島根原発はもう動かしません。」と力強く訴えました。サポーターズも揃いの赤いユニフォームでくびき大橋に並びました。

田中ブロック 3か所でまちかど演説会開催

田中はじめ市議は、黒田町西原、比津が丘団地、川津Aコープ前で、大平よしのぶ氏と共に訴えました。



大平よしのお前衆院議員と田中はじめ市議

まず、田中はじめ市議が、前回選挙で「原発のない松江を」との訴えに、「今の演説に賛成します」と、「田中さん頑張れ」と書いてくれた小学4年・2年二人の応援文をパネルで紹介し、「投票日は未来を変える日。投票権のない子どもたちの未来のために原発のない未来を開こう」と訴えました。

橘ふみブロック まちかど演説会開催

たちばなふみ市議予定候補の地元八束町で、大平よしのぶ氏を迎えて「まちかど演説会」が開かれ、2か所で50人以上の参加がありました。



八束町入江で、大平・たちばな両氏

大平氏は「コロナ対策の充実と原発のない松江市のために、ふみさんを議会に送っていただきたい」と訴え、藤井伸士・八束の明日を考える会会長、橘祥朗市議が「何としても市議会へ」と地元の支援を訴えました。たちばなふみ市議予定候補は「周知部が切り捨てられることなく、小さくてもキラリと光るまちづくりを一緒に」と訴えました。